

気付きの質の高まりを見取るには、、、

【生活科における気付きの質の高まりとは】

「無自覚だった気付きが自覚されたり、一人一人に生まれた個別の気付きが関連付けられたり、対象のみならず自分自身についての気付きが生まれたりすること」

文部科学省 2017 「小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 生活編」



【無自覚だった気付きが自覚される】

【思い描く】	「風の力を使ったおもちゃ」を速く動かすために、おもちゃの後ろに付けている風を受ける <u>トレイ</u> を大きくする。
【予想する】	
【振り返る】	「風の力を使ったおもちゃ」の後ろに付けた <u>トレイ</u> を大きくしたらたくさん進んだ。

風を受けるトレイの「大きさ」に着目していることから、対象への気付きが自覚されていることが分かります。

【一人ひとりに生まれた個別の気付きが関連付けられる】

友達と「ゴムの力を使ったおもちゃ」でどちらが高く跳ぶかやってみたら、友達のほうが高く跳んだ。牛乳パックの種類を変えることで、友達の「ゴムの力を使ったおもちゃ」が高くとんでいることに気付いた。

他の児童が「ゴムの力を使ったおもちゃ」の材料を変えていることから、自分と他者の気付きを関連付けていることが分かります。

【対象のみならず自分自身についての気付きが生まれる】

みんなで力を合わせて一年生が喜んでくれるように「磁石の力を使ったおもちゃ」の遊び場づくりを頑張った。

他の児童と協力して遊び場を完成させることができ、集団における自分の役割に気付いていることが分かります。